発行所 かしわら見張り番

代表
はまうら佳子
〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502

創刊記念期間 ¥0

The Kashiwara Mihariban かしわら見張り番

2009 7 no.3
7月21日（火）発行

応援します！ お母さん・働く女性

主婦の中にもそうじが苦手な人がいます。家事の基本とも言えるそうじ。単にきれいにすればいいという意味の浅いものではなさそうです。

最近では「そうじ力」という言葉も生まれ、「たかがそうじ」と軽んじるべからずとの見方が広がっています。

「そうじ力」とは「磨き上げること」であり、人生の運気を上げ、収入を増やし、幸福を手に入れる有効な方法だというのです。例えば、誰もが進んではやりたくないトイレそうじ。これを磨けば磨くほどそうじ力は上がり、道具を使わず素手で磨くなら、その効果はさらに大きくなるそうです。

精神を浄化し運気も上げる「そうじ力」

考えてみると、自分の外側と内面の間には、深い相関関係があります。自分の部屋を見回して、服が散らばり、床にごみが落ちたままの時は、確かに自分の心が荒れていたり、沈んでいたりします。逆に心が気力に満ちている時には、自然にごみを拾い、整理もできるようになります。

つまり、意識的にそうじ力を高めることは、自分の外側をきれいにすることで内面をきれいにしようという『自分そうじ』の第一歩なのです。

第二歩目は、自分の精神的な環境を整理すること。つまり自分の精神を汚すようなものを近づけない努力をするのです。どんなテレビ番組を見るか、インターネットで何を見るか、どんな人と付き合うか、そういったことのすべてが自分の精神を汚すか浄化するかに大きく影響します。

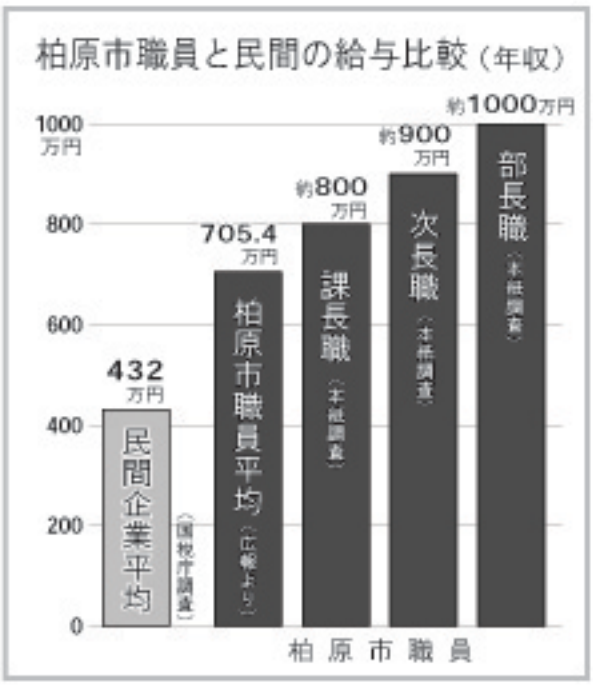
そうじ力を高めるのにお金は不要。きれいになって運気も上がるなら、試してみない手はないでしょう。

柏原市職員の給与

今こそ本気の財政改革を

平均年収 705万、民間の1・5倍

柏原市の財政状況は、すでに〝危険水域〟。待ったなしの財政改革が求められている。そのような中でも職員の厚遇は続き、平均年収は七〇五万円。この額は民間の一・五倍以上だ。



きっかけは一通の投書だった。柏原市内に住む七〇歳代の男性。失職して再就職もままならぬ息子の身を案じ、親子二人での生活の窮状と、その一方で、市職員が優遇されていることを訴える内容。職務怠慢を繰り返す職員に給与が払い続けられる実態も実名入りで告発しており、さらに「岡本市長の財政改革は口先だけ」と落胆している。

そこで、柏原市の職員の給与について調べたのだが、開示請求に対する返答は「不存在」。つまり、そんな資料はない、というのだ。当然、納得できるものではなく、電話で担当者に問い合わせたら、「ホームページを見てくれ」。「一般市民、特に中高年世代にはわかりにくい」と言うと、今度は「広報かしわら」を見てくれ、との一点張り。

確かに「広報かしわら」の昨年十二月号にわかりずらい表が掲載されていた。これによると、職員の平均年齢が四四歳で平均月給は三四万七八二八円。月給は民間とそう変わらないように見える。しかし、年収になると七〇五・四万円。月給×一二カ月は四一七万円だから、差額二八八万円は手当てということになる。

公務員の給与で議論の的になるのは、この「手当て」である。ボーナスの他に、むやみに諸手当を付けるのだ。二八八万円というのは、超優良企業のトヨタよりも遙かに多い額。過剰支給といわれてもしかたない。

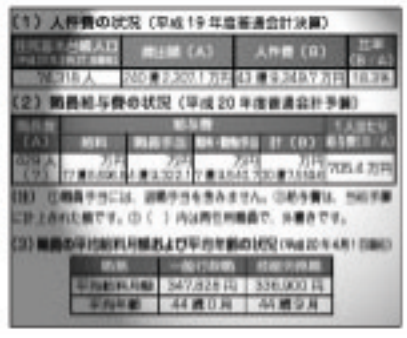
再度、市の担当者に電話して、職員一人ずつの給与について聞いたところ、「個人情報だから出せない」という。それなら、課長、次長、部長の給与について教えて欲しいと言うと、「個人によって、職務によって違うから」と拒否。

部長職で約一〇〇〇万円 民間平均は四三二万円

そこで「部長で一二〇〇万円と聞いている」と言うと、慌てて「いや、そんなことありません」。「課長で八〇〇万円前後ということ？」と質すと、「まあ、そうだ」。ということは、次長で九〇〇万円前後、部長で一〇〇〇万円前後となる。そういう書き方であればいいのかと問うと「それでいい」との返答だった。

国税庁では毎年「民間給与実態調査」を行っているが、民間企業で働く会社員の平均年収は毎年減り続け、約四三二万円である。この数字は全国平均であって、柏原市のような地方都市ではもっと低くなる。

地方公務員法第二十四条には「職員の給与は、（中略）民間事業の従事者の給与その他の事情を考慮して定められなければならない」とあり、民間の水準とも釣り合っていなければならないと明記している。ということは、柏原市の場合、地域住民の所得との格差がありすぎ、法律違反さえ疑われるのではないだろうか。


（1）人件費の状況（平成19年度普通会計決算）

住民基本台帳人口（外国人を含む）（平成19年度末）	歳出額（A）	人件費（B）	比率（B／A）
76,318人	260億3,203万円	43億3,245万円	16.6%

（2）職員給与費の状況（平成20年度普通会計予算）

職員数（A）	給与費				1人当たり給与費（C／A）
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	
707人（1,000人）	2億8,000万円（2億8,000万円）	2億3,000万円（2億3,000万円）	2億5,000万円（2億5,000万円）	7億6,000万円（7億6,000万円）	705.4万円

（注）①職員手当には、退職手当を含みません。②給与費は、当初予算に計上された額です。③（　）内は再任用職員で、外書きです。

（3）職員の平均給料月額および平均年齢の状況（平成20年4月1日現在）

区分	一般行政職	技能労務職
平均給料月額	347,828円	326,000円
平均年齢	44歳0月	44歳9月

市職員の給与に関して一部を掲載する「広報かしわら」昨年12月号

公務員の給与が割高になるのは、前記の「手当て」以外にも、年齢の高い職員を処遇するため、役職を増やしたり、実際の職務よりも高い資格を与えたりする慣行が原因とされる。

もちろん、職員の中には真面目に給与以上の働きをしている人もいるだろうから、一律に削減すべきとは言えない。また、公務員の年収の高さは柏原市に限ったことではない。

しかし、景気後退で税収が激減し、市財政が危機にひんする中、ここ柏原市から市民が望む本気の改革が始まって悪いわけはない。

職員も民間も互いに痛みを分かち合う聖域なき改革を推進して行かざる得ない時がすでに来ている。

みなさまの声募集中です。
柏原を希望あるまちにするため、みなさんのご意見やご要望、また夢など、どしどしお寄せください。
info@change-kashiwara.com
〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502 FAX 072-977-8762